

2023年(令和5年)度、くすのき未来塾は下記の3回を実施しました。1回目と2回目は対面講義をオンラインでも配信するハイブリッドで行いましたが、3回目は新しいやり方も加えて対面講義のみでおこないました。

なお回表記につきまして、これまで年度ごとの回で表してきましたが、本講座は2019年6月に第1回が始まって2022年度までで通算10回を数えました。通算回数の方が積み重ねをご理解いただけたと考え、今回から通算回数で表示します。

第11回 10月21日(土)

「『国立国会図書館』って、どんなところ？」

講師：阿部 泰^{ちかむら}氏 国立国会図書館総務部管理課長

「国立」で唯一の「国会図書館」について、設立の由来や蔵書の保存と活動、利用の仕方などについて説明。中央館とは別の上野にある「国際子ども図書館」の存在は子供たちの興味を引いたようでした。

受講者：会場15人、オンライン7人



第12回 12月9日(土)

「ごみからくらしを考えよう！」

講師：寺園 淳 氏

国立環境研究所資源循環領域 上級主席研究員

ごみ問題について、その歴史や海洋プラスチック、リチウムイオン電池、リサイクルなど現代の新しい課題についても触れ、自分たちの生活から生じるゴミがどのように処理され、最後はどうなるのか、という問いが示されました。保護者の関心も高かったことがアンケートから伺えました。

受講者：会場16人、オンライン6人



第13回 3月9日(土)

「可能性は無限大！ 手作りロボットの世界！」

講師：西原 徹男 氏

ブリッジテクノロジー株式会社代表取締役

ラズベリーパイという基板を使ったロボットの作り方を通じて、自分の夢をどのようにして形にするかという説明と、実際に手作りしたロボットの機能や動きを実演。

参加者に動くロボットを目の前で見て触ってもらいたいという狙いもあり、会場受講のみで実施。ただ希望者がいつもの定員の倍以上だったので、机をなくし、会場中央に設けたテーブル上で動くロボットをカメラで写し、会場のスクリーンに映し出しました。

受講者は84人。

